

(別添資料1) 食育アルバム・食育コラムの更新案について

	第2次計画	第3次計画	
1	食育アルバム(P8)朝市の写真紹介、大浦ごぼうの紹介	写真等の変更	第1次から
2	食育コラム(P21)新しい給食センターの紹介	企業との包括連携協定へ	
3	食育アルバム(P21)さつまいもの収穫体験、落花生の収穫体験、匝瑳市産の農産物の写真紹介		第1次から (写真更新)
4	食育コラム(P22)「お米の話」について		第1次から
5	食育コラム(P23)「匝瑳の逸品」について	ふれあいパーク八日市場の写真に変更	
6	食育コラム(P27)ランチタイムスの紹介	写真等の変更	第1次から (写真更新)
7	食育アルバム(P29)赤ピーマン、あっぴいちゃん、初夢漬けの写真紹介		初夢は第1次から
8	食育コラム(P31)わんぱくクッキングの紹介		
9	食育コラム(P32)食事バランスガイドの紹介	めざましご飯(農水省)で朝食への啓発	要許可申請
	(参考) レイアウト等の仕様で、スペースが空いた場合の候補。	食品ロスについて(ろすのん、すぐたべ君) みどりの食料システム戦略 食育ピクトグラム、食育マーク	

(参考)

〇めざましご飯 (農林水産省)

会議中画像の紹介あり

〇ろすのん (農林水産省)

会議中画像の紹介あり

〇すぐたべくん (環境省)

店頭POP、レールPOP (A4サイズ以上で出力し、カットしてご使用ください)



〇みどりの食料システム戦略 (農林水産省)

令和3年5月に農林水産省が策定した、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を目指すこととしています。

環境にやさしい生産や消費まで、新たな食料システムを構築することが急務であるとされています。

## ○食品ピクトグラム、食育マーク（農林水産省）

### 【目的】

食育の取組を子供から大人まで、誰にでもわかりやすく発信するため、表現を単純化した絵文字であるピクトグラム等を作成し、多くの人に使用してもらうことを目的として、農林水産省が作成しました。

#### ●食育ピクトグラム(4C)



#### ●食育マーク



色入社の提案を多くご利用いただきありがとうございます。

(別添資料2) 第3次匝瑳市食育推進計画 数値目標の設定(案)について

基本施策	項目	出発値 (平成28年度)	目標値 (令和3年度)	現状値 (令和3年度)	担当課	達成状況	第3次計画での扱い
1 地産地消の 推進	食生活において、「地元産や旬の食材を取り入れた料理をつくる」ことを実行している市民の割合(※)	31.0%	35.0%	24.6%	産業振興課	未達成	未達成目標であるため、引続き目標とする 目標値：変更なし
	地元農水産物を意識して購入する市民の割合	新設	新設	新設	産業振興課	新設	目標値：80%以上 ※国目標から
	地元農水産物を使った料理レシピの提供	1回/年	5回/年	11回/年	産業振興課 関係各課	達成	目標を達成しているため、削除
	給食施設での地元農水産物の利用促進	32品目/年	35品目/年	24品目/年	福祉課 学校教育課 市民病院	未達成	給食センターの統合や取引業者の減少により、利用品目が減少している一方で、市総合計画でも給食センターの地産地消を推進していることから引続き目標とする。 目標値：26品目
	家庭菜園や果物狩り等、農漁業に触れる市民の割合(※)	25.5%	40.0%	22.8%	産業振興課	未達成	未達成目標であるため、引続き目標とする 目標値：変更なし
2 家庭・地域における食育の推進	食育に興味を持っている市民の割合(「関心がある+どちらかといえば関心がある」)	61.1%	90.0%	59.1%	産業振興課 学校教育課 健康管理課	未達成	未達成目標であるため、引続き目標とする 目標値：変更なし
	食べ残しや廃棄を減らす努力をしている市民の割合(※)	42.3%	50.0%	57.3%	環境生活課 産業振興課	達成	目標を達成しているが、国の目標値に引き上げて、引続き目標とする 目標値：80%
3 学校等における食育の推進	農業体験や料理教室など、食育のテーマを取り入れた授業・学習	各校4回/年	各校6回/年	各校6回/年	学校教育課	達成	目標を達成しているが、引続き目標とする 目標値：80回/年 ※産業振興課を担当課に加え、年間合計回数を目値とする

基本施策	項目	現状値 (平成28年度)	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)	担当課	達成状況	第3次計画での扱い
4 食文化や 郷土料理の 伝承	郷土料理や地元農水産物を使った料理教室の開催	9回/年	12回/年	12回/年	生涯学習課 産業振興課	達成	目標を達成しているが、引続き目標とする 目標値：15回 ※産業振興課を担当課に加える
	市の郷土料理や特産品を「知っている」市民の割合(※)	各品 21~72%	全ての品を 40%以上にする	各品 31.5~61%	産業振興課	未達成	未達成目標であるため、引続き目標とする 目標値：変更なし
	匝瑳市では、食の文化や伝統、季節性などを大事にしていると思う市民の割合(※)	31.8%	増加	36.4%	産業振興課	達成	目標を達成しているが、引続き目標とする 目標値：36.4%から増加
5 「食」と健康 に関する 知識の普及	自分の食事が栄養バランスに偏りがあると不安に思っている市民の割合(※)	30.5%	減少	38.2%	産業振興課 健康管理課	未達成	未達成目標であるため、引続き目標とする 目標値：変更なし
	<del>食の安全性に不安を感じている市民の割合(※)</del>	75.4%	減少	81.6%	産業振興課	未達成	未達成であるが、国目標に変更するため削除
	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民の割合	新設	新設	新設	産業振興課	新設	目標値：80% ※国目標から、市川市も同様
	朝食で副菜を食べる人の割合(※)	43.9% (成人) 33.9% (小中学生)	50.0% (成人) 40.0% (小中学生)	49.3% (成人) 43.4% (小中学生)	産業振興課 学校教育課 健康管理課	一部達成	大人が未達成のため、引続き目標とし、子供の目標を引き上げる 成人目標：50% 小中学生目標：45%
	ゆっくりよく噛んで食べる市民の割合	新設	新設	新設	産業振興課 健康管理課	新設	目標値：55%以上 ※国目標から 市川市、名古屋市も同様
	<del>「食事バランスガイドの見方を知っている」市民の割合(※)</del>	26.8%	増加	15.6%	産業振興課 健康管理課	未達成	専門部会協議で、周知の機会が減ってきているとの意見があった。 国や県においても目標設定していないことから削除

